

学生と地元企業マッチング

アプリ開発 県外流出歯止め



人材マッチングのアプリの開発について話し合う「Nokin」のメンバー＝浜松市中区

静岡大浜松キャンパスと静岡文化芸術大の学生でつくる浜松市の学生団体「Nokin」が、両大学の学生と地元のIT、デザイン関連企業をマッチングするアプリケーションの開発に取り組んでいる。優秀な学生の県外流出に歯止めをかけ、地域活性化につなげる狙い。

浜松の2大学団体 年内完成目指す

同市を中心に県内企業で3カ月～4年間の長期インターンシップを希望する学生が企業に申し込みができるアプリを8月から制作中で、12月中の完成を目指す。当面は同団体に所属する学生向けとして運用するが、今後3年間で対象を市内の学生全体にも広げる予定。企業にもインターン自体の実施を含めて協力を打診中で、数社が検討中という。3年間で計50社程度の参入を目標に掲げる。同団体の代表を務める静岡大工学部4年の土屋尚輝さん(23)は、

学生時代からプロと接しながら実務を経験すること、社会に出るためのさまざまなスキルが身につく、学業の専門性も高められると期待する。東京では長期インターンが可能だが、企業が多い点も挙げ、「県内では学生へのアプローチが充実していない。魅力ある企業は多い。学生にも地元で就職という選択肢を提供したい」と語る。

このほか、ITエンジニアを目指す学生向けに、キャリアに関する知識やヒントを紹介するアプリも併せて開発している。

人材マッチングアプリの開発に当たり、30日までクラウドファンディングで資金を募っている。サーバー確保や人件費に充てるという。目標金額は50万円。問い合わせはメール／nokin69699@gmail.comへ。(浜松総局・磐村光紀)